

精神科専門医プログラム

定員
25名



プログラム責任者

精神科学講座

三島 和夫 教授

専門研修 担当者 連絡先	筒井 幸 助教 TEL.018-884-6122 FAX.018-884-6445 E-mail tsutsui@med.akita-u.ac.jp HP http://www.med.akita-u.ac.jp/~seisin/senmonkenshuupro.html
--------------------	--



プログラムの特徴

本プログラムの精神科専門医コースは、生涯学び続けるよき精神科医師を養成することを目指します。具体的には、(1)精神科救急の拠点における研修を経験する、(2)総合病院と精神科専門病院の両者の経験を積む、(3)精神保健指定医取得に必要な症例を経験する、(4)地域医療を守る、(5)医学向上のためのリサーチマインドを涵養する、の5つを柱として研修を受けていただきます。

本プログラムは秋田大学医学部附属病院を基幹病院とし、秋田県内19施設、岩手県1施設の20の連携施設群より構成されます。大学病院における教育研究、総合病院と救急拠点病院における専門研修、精神科専門病院における地域医療に密着した研修と、幅広い領域の精神医療の経験を積むことが出来ます。大学病院では高度専門医療、救急拠点病院では急性期患者や触法患者への対応、総合病院では身体合併症の管理や緩和医療、リエゾン精神医学などの研修が可能です。精神科専門病院では、地域連携による精神科リハビリテーションや就労支援などについて研鑽を積むことが出来ます。

基本的にプログラムは専攻医自身の希望や適性に於いてアレンジが可能であり、産休や育休などにも柔軟に対応します。専門医取得までの3年間、同じ指導医が責任を持って一貫性のある教育にあたり、上級医がそれをサポートする体制を確立しています。

秋田大学医学部精神科学講座は、過眠症、自己免疫脳炎による精神症状、概日リズム障害、認知行動療法などに関する先端的な研究を行っています。また睡眠薬をはじめとする向精神薬の適正使用ガイドライン策定をリードするなど精神科薬物療法の向上に貢献しています。ナルコレプシーの病因に関わるオレキシンの測定を行っているアジアで唯一の研究施設としても知られています。関心のある方にはこれらの臨床研究にもご参加いただけます。

精神医療が対象とする疾患はうつ病や発達障害、認知症など大きな社会問題となっている疾患のほか、司法精神医学(触法患者)、災害精神医学(被災地支援を含む)など多岐にわたります。統合失調症や気分障害など今後の研究により画期的な診断治療法が登場する可能性がある疾患が数多く残されており、臨床、研究の両面から非常にやり甲斐がある医学領域です。

私ども精神科学講座は自由闊達なモットーで、皆、和気藹々として仲の良いのが自慢です。皆さんが仲間に加わってくれるのを心からお待ちしております。充実した研修を経て精神科専門医資格を取得できるよう最大限のサポートをお約束いたします!

プログラムの説明

1年目は、32時間を基幹病院で、8時間を地域病院で研修を行います。基幹病院では精神科診察の基本、疾患の知識、診断、治療などに関して、指導医のもとで総合的な経験を積んで貰います。地域病院は、連携施設群の病院のいずれかになります。

2年目は、主に救急拠点病院(能代厚生医療センター、市立秋田総合病院、大館市立総合病院、秋田県立リハビリテーション・精神医療センター、横手興生病院、南光病院)にて36時間、基幹病院にて4時間の研修を行います。主に精神科救急のファーストタッチ、急性期治療とその対応、精神症状の評価と診断などを専攻医が中心となり重点的に経験してもらいます。4時間は基幹病院にて論文作成や研修進捗の確認、フィードバックなどを行います。

3年目前半は自由選択で、相談のうえ、基幹病院-連携施設を含めて研修先を決定します。後半は再び基幹施設で32時間、地域病院にて8時間の研修を行います。社会人大学院は3年目より入学することができます。秋田大学の大学院はもとより、国内外の第一線の研究施設への留学も可能です。研究テーマや施設などは皆さんの希望も勘案してアレンジします。

専門医、指導医、出身地、施設認定、関連施設など

■各種資格・学会専門医・指導医

精神保健指定医、日本精神神経学会専門医・指導医、日本睡眠学会認定医・指導医、老年精神医学会認定医・指導医、日本臨床精神神経薬理学会専門医・指導医、日本総合病院精神医学会専門医(一般病院連携精神医学会指導医)

■医局員の出身大学

秋田大学、岩手医科大学、北里大学、東京女子医科大学、弘前大学など。出身地は秋田県、埼玉県、東京都、神奈川県、福島県、愛知県、大阪府、高知県など。

■施設認定

日本精神神経学会専門医制度基幹病院
日本老年精神医学会認定施設、日本睡眠学会認定施設、日本臨床精神神経薬理学会専門医研修施設、日本総合病院精神医学会専門医研修施設

■新専門医制度連携施設群(秋田県内19施設、岩手県1施設)

秋田県立リハビリテーション・精神医療センター、能代厚生医療センター、大館市立総合病院、市立秋田総合病院、秋田赤十字病院、中通総合病院、横手興生病院、南光病院(岩手県)、市立大曲病院、杉山病院、今村病院、秋田緑ヶ丘病院、清和病院、秋田東病院、秋田回生会病院、加藤病院、協和病院、笠松病院、菅原病院、象潟病院

取得までのキャリアパス

1年目	基幹病院32時間	地域医療 8時間	●平日4時間、週2回地域医療研修
2年目	精神科救急拠点病院36時間	大学 4時間	●2年目で選択できる精神科救急拠点病院は以下のとおり □市立秋田総合病院 □能代厚生医療センター □大館市立総合病院(2019.4~) □秋田県立リハビリテーション・精神医療センター □横手興生病院 □南光病院(岩手県一関市)
3年目前半	選択制(どの病院でも可)		●4時間は大学で学術研究、研修打ち合わせ
3年目後半	基幹病院32時間	地域医療 8時間	●3年目より社会人大学院入学可 ●3年目前半は基幹病院含め自由選択 ※凡例であり、専攻医の希望、基幹施設の状況に応じ変更となることもあります ※※サバスベリヤリティに関しては、学会選考中で未定です(2018年8月時点)